

新評議員に4氏

3月に開催された理事会で、学校法人国士館附行為第30条第1項第1号により岩瀬公一氏、2号、学校法人国士館附行為第30条第1項第2号、学校法人国士館附行為第30条第1項第3号、第31条第1項第1号及び同施行規則第3条第1項第1号により村岡幸彦氏、学校法人国士館附行為第30条第1項第2号、第31条第1項第1号及び同施行規則第3条第1項第2号により大谷茂氏と作田英一氏が学校法人国士館評議員に選任された。4月1日付で発令され、期間は岩瀬氏が令和3年3月31日まで、村岡氏、大谷氏、作田氏が令和2年5月31日まで。



役職者 紹介

4月1日現在の学部・研究科等役職者は次のとおり。
【凡例】●役職名、氏名、所属学部・職名、年齢、専門/任期

<p>●学長 兼 経営学研究所 所長 徳育研究所 所長 佐藤 圭一(さとうけい)63歳 政治学・社会学・心理学・教育心理学 63歳/政治学・社会学 2・3・31まで</p>	<p>●副学長 兼 総合的財産学研究所 研究科長 兼 国士館史料室 室長 飯田 昭夫(いわたあきお)68歳 法学部・社会学・政治学 68歳/政治学・社会学 2・3・31まで</p>	<p>●副学長 兼 学長室長 入澤 充(いらいさわみづ)67歳 法学部・社会学・政治学 67歳/社会学・政治学 2・3・31まで</p>	<p>●副学長 兼 スポーツ・システム研究科 研究科長 角田 直也(なおのすけ)66歳 社会学・社会学 66歳/社会学 2・3・31まで</p>	<p>●副学長 長谷川 均(はせがわひとし)66歳 社会学・社会学 66歳/社会学 2・3・31まで</p>
<p>●政治学研究所 研究科長 平石 正美(しげよし)62歳 社会学・社会学 62歳/社会学 2・3・31まで</p>	<p>●経済学研究所 研究科長 阿部 武司(あべたけし)66歳 社会学・社会学 66歳/社会学 2・3・31まで</p>	<p>●救急システム研究科 研究科長 田中 秀治(たなかひでお)66歳 社会学・社会学 66歳/社会学 2・3・31まで</p>	<p>●工学研究科 研究科長 本田 康裕(ほんたやすひろ)64歳 工学部・社会学 64歳/社会学 2・3・31まで</p>	<p>●法学研究科 研究科長 森田 悦史(もりたえき)60歳 法学部・社会学 60歳/社会学 2・3・31まで</p>
<p>●人文科学研究科 研究科長 菱刈 晃夫(しんあきら)62歳 社会学・社会学 62歳/社会学 2・3・31まで</p>	<p>●グローバルアジア研究科 研究科長 小口 和美(こぐちわづみ)63歳 社会学・社会学 63歳/社会学 2・3・31まで</p>	<p>●21世紀アジア学部 学部長 横沢 民男(よこざわたみお)69歳 社会学・社会学 69歳/社会学 2・3・31まで</p>	<p>●文学部 学部長 中村 一夫(なかむらいち)67歳 社会学・社会学 67歳/社会学 2・3・31まで</p>	<p>●経営学部 学部長 中根 雅夫(なかねみやふ)69歳 社会学・社会学 69歳/社会学 2・3・31まで</p>
<p>●法学部 学部長 三川 佳央(みやうけい)61歳 社会学・社会学 61歳/社会学 2・3・31まで</p>	<p>●理学部 学部長 村岡 幸彦(むらおかちか)66歳 社会学・社会学 66歳/社会学 2・3・31まで</p>	<p>●体育学部 学部長 岩元 浩一(いわたひろ)62歳 社会学・社会学 62歳/社会学 2・3・31まで</p>	<p>●国際文化研究所 所長 山口 裕通(やまぐちひろと)64歳 社会学・社会学 64歳/社会学 2・3・31まで</p>	<p>●国際交流センター センター長 高橋 敏男(たかはしとしお)64歳 社会学・社会学 64歳/社会学 2・3・31まで</p>
<p>●学生部 部長 田原 淳子(たはらじゅんこ)63歳 社会学・社会学 63歳/社会学 2・3・31まで</p>	<p>●キャリア形成支援センター センター長 福永 清貴(ふくながきよたか)62歳 社会学・社会学 62歳/社会学 2・3・31まで</p>	<p>●図書情報メディアセンター センター長 藤森 馨(ふじもりかほる)61歳 社会学・社会学 61歳/社会学 2・3・31まで</p>	<p>●国際交流センター センター長 大高 敏男(おほたかとしお)64歳 社会学・社会学 64歳/社会学 2・3・31まで</p>	<p>●図書情報メディアセンター センター長 藤森 馨(ふじもりかほる)61歳 社会学・社会学 61歳/社会学 2・3・31まで</p>



災害時に語学支援ボランティア

このほど本校と鴨嶋市、世田谷警察署及び北沢警察署は、災害時にボランティアとして、語学支援ボランティアの育成に関する協定を締結し、その調印式が1月30日、世田谷キャンパスの1号館3階大会議室で執り行われた。調印式には、本校と鴨嶋市、北沢警察署、鴨嶋警察署関係者が出席し、大澤理事長と鴨嶋市長、鈴木署長が協定書に調印した。

この協定は、大規模災害発生時に、被災地において、被災者の生活支援や避難生活のサポートなどを行うボランティアの育成を目的として、鴨嶋市、北沢警察署、鴨嶋警察署と連携し、協定を締結することになった。大澤理事長は、「引き続き防災教育に力を入れ、期待に答えるよう全力を尽くす」と話し、調印式には、本校と鴨嶋市、北沢警察署、鴨嶋警察署関係者が出席し、大澤理事長と鴨嶋市長、鈴木署長が協定書に調印した。

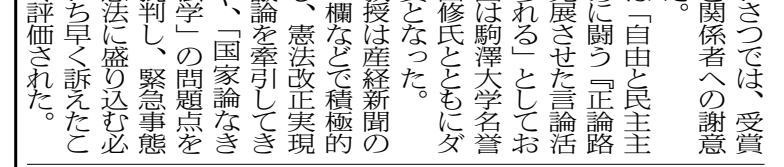
「憲法」提言を評価

本学の百地章特任教授「シナケイグループ」主催の「憲法」提言を評価するシンポジウムが、2月5日、東京・千代田区千代田の「正論大賞」で表彰された。

代田区のホテルニューオクタニで行われた。百地教授は、夫人の紀子さんとともに壇上へ登壇し、金が贈られた。その後の受賞あいさつでは、受賞の喜びと関係者への謝意を述べた。

同賞は「自由と民主主義の発展に寄与する言論活動」を目的として、言論活動に貢献したと認められた者に贈られる。百地教授は「憲法改正の議論を促進し、憲法改正の実現に向けて議論を牽引してきたことや、『国家論なき戦後憲法論』の問題点を厳しく批判し、緊急事態条項を憲法に盛り込む必要をいち早く訴えたと高く評価された。

安倍首相も祝福



代田区のホテルニューオクタニで行われた。百地教授は、夫人の紀子さんとともに壇上へ登壇し、金が贈られた。その後の受賞あいさつでは、受賞の喜びと関係者への謝意を述べた。

百地教授に「正論大賞」

本学の百地章特任教授「シナケイグループ」主催の「憲法」提言を評価するシンポジウムが、2月5日、東京・千代田区千代田の「正論大賞」で表彰された。

資質開発へ積極討論

FDシンポ 教員60人参加

本学FD委員会は、第20回FDシンポジウムを3月16日に世田谷キャンパスのマイペースセンター1号館1階第1会議室で開催し、約60人の教員が参加した。FDとは、Faculty Developmentの略で、教員の資質開発を指す。今回のシンポジウムでは、資質開発の重要性について、積極的な議論が行われた。

また、10月11日から31日までの間に、13コマの授業公開のうち、担当した教員8人から授業の工夫等について実施報告があった。

100周年事業の寄付者を芳名板に

3月27日、世田谷キャンパス4号館1階111号室に設置してある「学校法人国士館創立100周年記念事業募金寄付者芳名板」に、新たな芳名板が追加設置された。今回追加されたのは、平成27年1月から平成30年3月31日まで、同募金への寄付者が対象。これにより、芳名板には、平成18年から開始した当事業のすべての寄付者が刻印された。

科研費奨励賞15人に授与

最先端の学術研究を推進

平成30年度の科研費奨励賞15人に授与された。授賞式は2月28日、世田谷キャンパスのマイペースセンター1号館1階第1会議室で行われ、受賞者11人が出席した。

授賞式では学術関係者らが見守る中、佐藤学長が受賞者一人一人に賞状を授与した。佐藤学長は「本学が多岐にわたる分野で最先端の研究に携わる総合大学であることを誇りに思っており、各自の研究内容について説明し、幅広い分野で受賞を期待する」と述べた。

受賞者には、授賞式に参加した教員、外部のFD関係者、授業の実践記録(シナケイグループ)から活動報告があった。報告を受けた、会場ではクラウド型講義支援システム「manaba」の効果的な活用方法、大学院生による教育補助業務(小A)

実態調査を報告書に

本学は、学生の修学や生活に関する実態調査を報告書にまとめた。調査は平成30年7月から10月、在学生を対象にWEBアンケートに答える方法を実施した。回収率は47%だった。

実態調査は毎年行われ、調査結果をもとに教育環境の整備に役立てられている。

アジャ・日本研究センター 廃止

本学附設研究機関のアジャ・日本研究センターが、3月31日付で廃止された。

同センターは、21世紀アジア学部の開設に先立ち平成12年に設置された。研究成果は21世紀アジア学部に新設の「21世紀アジア学」に引き継がれ、同学部の一層の充実・発展に活用される。

新規採用教職員

4月1日付新規採用教職員は、次のとおり。(敬称略)

<p>【教員】 所属学部・職名 専門分野 ●政経学部 貴名 貴洋(きなひろ)61歳 社会学・社会学 61歳/社会学 2・3・31まで</p>	<p>【教員】 所属学部・職名 専門分野 ●政経学部 貴名 貴洋(きなひろ)61歳 社会学・社会学 61歳/社会学 2・3・31まで</p>	<p>【教員】 所属学部・職名 専門分野 ●政経学部 貴名 貴洋(きなひろ)61歳 社会学・社会学 61歳/社会学 2・3・31まで</p>	<p>【教員】 所属学部・職名 専門分野 ●政経学部 貴名 貴洋(きなひろ)61歳 社会学・社会学 61歳/社会学 2・3・31まで</p>	<p>【教員】 所属学部・職名 専門分野 ●政経学部 貴名 貴洋(きなひろ)61歳 社会学・社会学 61歳/社会学 2・3・31まで</p>
<p>【教員】 所属学部・職名 専門分野 ●政経学部 貴名 貴洋(きなひろ)61歳 社会学・社会学 61歳/社会学 2・3・31まで</p>	<p>【教員】 所属学部・職名 専門分野 ●政経学部 貴名 貴洋(きなひろ)61歳 社会学・社会学 61歳/社会学 2・3・31まで</p>	<p>【教員】 所属学部・職名 専門分野 ●政経学部 貴名 貴洋(きなひろ)61歳 社会学・社会学 61歳/社会学 2・3・31まで</p>	<p>【教員】 所属学部・職名 専門分野 ●政経学部 貴名 貴洋(きなひろ)61歳 社会学・社会学 61歳/社会学 2・3・31まで</p>	<p>【教員】 所属学部・職名 専門分野 ●政経学部 貴名 貴洋(きなひろ)61歳 社会学・社会学 61歳/社会学 2・3・31まで</p>
<p>【教員】 所属学部・職名 専門分野 ●政経学部 貴名 貴洋(きなひろ)61歳 社会学・社会学 61歳/社会学 2・3・31まで</p>	<p>【教員】 所属学部・職名 専門分野 ●政経学部 貴名 貴洋(きなひろ)61歳 社会学・社会学 61歳/社会学 2・3・31まで</p>	<p>【教員】 所属学部・職名 専門分野 ●政経学部 貴名 貴洋(きなひろ)61歳 社会学・社会学 61歳/社会学 2・3・31まで</p>	<p>【教員】 所属学部・職名 専門分野 ●政経学部 貴名 貴洋(きなひろ)61歳 社会学・社会学 61歳/社会学 2・3・31まで</p>	<p>【教員】 所属学部・職名 専門分野 ●政経学部 貴名 貴洋(きなひろ)61歳 社会学・社会学 61歳/社会学 2・3・31まで</p>
<p>【教員】 所属学部・職名 専門分野 ●政経学部 貴名 貴洋(きなひろ)61歳 社会学・社会学 61歳/社会学 2・3・31まで</p>	<p>【教員】 所属学部・職名 専門分野 ●政経学部 貴名 貴洋(きなひろ)61歳 社会学・社会学 61歳/社会学 2・3・31まで</p>	<p>【教員】 所属学部・職名 専門分野 ●政経学部 貴名 貴洋(きなひろ)61歳 社会学・社会学 61歳/社会学 2・3・31まで</p>	<p>【教員】 所属学部・職名 専門分野 ●政経学部 貴名 貴洋(きなひろ)61歳 社会学・社会学 61歳/社会学 2・3・31まで</p>	<p>【教員】 所属学部・職名 専門分野 ●政経学部 貴名 貴洋(きなひろ)61歳 社会学・社会学 61歳/社会学 2・3・31まで</p>
<p>【教員】 所属学部・職名 専門分野 ●政経学部 貴名 貴洋(きなひろ)61歳 社会学・社会学 61歳/社会学 2・3・31まで</p>	<p>【教員】 所属学部・職名 専門分野 ●政経学部 貴名 貴洋(きなひろ)61歳 社会学・社会学 61歳/社会学 2・3・31まで</p>	<p>【教員】 所属学部・職名 専門分野 ●政経学部 貴名 貴洋(きなひろ)61歳 社会学・社会学 61歳/社会学 2・3・31まで</p>	<p>【教員】 所属学部・職名 専門分野 ●政経学部 貴名 貴洋(きなひろ)61歳 社会学・社会学 61歳/社会学 2・3・31まで</p>	<p>【教員】 所属学部・職名 専門分野 ●政経学部 貴名 貴洋(きなひろ)61歳 社会学・社会学 61歳/社会学 2・3・31まで</p>

「教育資源の社会還元」多様に推進

平成31年を以て、18歳入 書館竣工後は、公開利用を開始口の減少と学生の多様化によつて受入が大学を運営時代へと転換し、大学は教育・研究の独自性や運営基盤の安定が一層求められつつある。

国士館は平成25年に将来計画に基づく施設整備計画を決定し、同4年からの期に分けてすべての校地の整備を着々と実行。地域・社会に開かれた学園とする基本方針によって、世田谷校地では学内を囲む壁をすべ取の除去、各キャンパスの図

ソフト、ハード両面で開放 「開かれた学園」へ



広域避難場所一体化に向け、世田谷区が実施した国士館坂通りの立体化工事(平成12年)。左は中央図書館、右は第2体育館。現在はインテリジェントセンターホール

国士館が歩んだ 「平成」

近年、情報化・国際化が急速に進展する中で、多発する自然災害や感染症など地球規模の課題に直面している。日本においては、人口の急減と超高齢化という脅威が追い打ちをかける。大学は、それら課題解決に向けた研究成果の還元と人材育成がより求められている。「令和」の幕開けを前に、国士館が歩んだ「平成」の約30年間を「地域・社会貢献」「グローバル化」を中心に振り返る。

国際化に対応

昭和58年に政府から「留学生10万人計画」が発表される。各大学は国際化する日本経済・社会の需要に応えるため、留学生の積極的な受け入れに取り組んだ。本学は平成8年に国際交流センターを開校し、海外研修や交換留学などの制度を整えた。また、ゲストハウスを建設し、留学生の受け入れに対応した。同14年には21世紀アジア学部を創設。日本の国際的な人材化や諸外国との人的なネットワークの形成のみならず、相互理解と友好関係の深化、ひいては世界の安定と平和への貢献にもつながることを期待されている。

グローバル人材を養成、人的ネットワークも形成



学園祭に参加する留学生ら(平成9年)

キャンパスの国際化

平成元年の本学外国留学生数(短大含む)は126人で、国・地域別で見ると台湾からの留学生が63人で全体の半分を占めた。8年に国際交流センターが設置されると、海外協定校の数も増加した。この頃から海外研修が始まり、異文化体験を通じた国際的な人材育成を推し進めた。

アジアと世界への視座鮮明に

国際的な視野を持ちアジアと世界の発展に寄与する人材育成を目的として平成14年に21世紀アジア学部が創設された。本学は、海外での語学研修やヒシネス、国際関係、日本長期留学、インターンシップ、語学教育、地域研究、文化遺産分野など従来の学問体系や領域、武蔵と伝統芸能のそれぞれ6種目、合わせて12種目の「伝統道科目」を設けるなど既存の学部にはない新しい国士館教育のスタイルを打ち出した。学部設置2年前となる12年にはアジア・日本研究センターを開校(31年4月から学部付属研究所に改編)し、研究部門の充実を図った。

51海外協定校との交流深化



茶道を学ぶ学生ら(平成14年)

21世紀アジア学部の開設

本学にとって初の協定校は昭和50年に締結したアメリカのセント・ジョンス大学であった。平成31年4月現在、23カ国・1地域で51大学・機関と協定を結ぶ。同14年の21世紀アジア学部設置以降、留学生の受け入れ数は約3,550人、派遣留学生は約1,800人で、交換留学や共同研究を通じた多彩な人材輩出に寄与している。

地域に根差し 世界に架け橋

海外協定校と語学研修

平成に入り、受け入れる留学生の増加に伴う地域住民への理解・協力を促すことにも取り組んできた。地域との交流を深め、留学生がそれぞれの母国料理を作って地域住民と触れ合う機会としている。

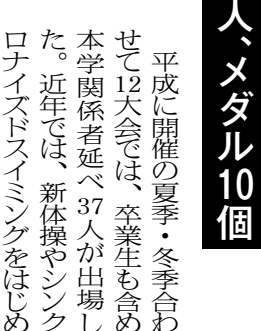


平成27年、茨城・鬼怒川水害で救援活動を行う学生・教職員の災害ボランティア

平成に入り、受け入れる留学生の増加に伴う地域住民への理解・協力を促すことにも取り組んできた。地域との交流を深め、留学生がそれぞれの母国料理を作って地域住民と触れ合う機会としている。

地域住民らと国際交流

平成に入り、受け入れる留学生の増加に伴う地域住民への理解・協力を促すことにも取り組んできた。地域との交流を深め、留学生がそれぞれの母国料理を作って地域住民と触れ合う機会としている。



アテネ大会で金メダルを獲得した鈴木桂治選手(平成16年)＝ロイター/アフロ

伝統紡ぐ寒稽古

時代が変化しても今なお続く国士館恒例の寒稽古。中学・高校・大学の生徒・学生が心身の鍛錬に取り組み、創立時は全寮制だったことから「朝稽古」と呼ばれていた。大正9年の記録には、太鼓の音を合図に早朝5時から柔道・剣道の稽古を行っていたことが残されている。

研究成果を海外にも発信

昭和51年に開設したインテリジェントセンターは、発掘調査による数々の研究成果を高い評価を受け、平成に入ると戦争や自然災害で破壊された文化遺産の修復・保存に向け復興プロジェクトを国内外の研究チームと取り組んだ。また、防災について本学の各専門分野における国内外の各機関と共同研究が進められるなど、多分野にわたる研究成果が世界に発信されている。

自治体との連携

世田谷区や多摩市など自治体との連携事業を取り組む一方、平成13年に世田谷6大学コンソーシアムを締結し教育資源の相互利用や共同研究、単位互換などの連携に取り組んだ。同16年にはインターネットを活用した「せたがやeカレッジ」を世田谷区教育委員会と本学など4大学(現在は6大学)で共同開設した。同31年には世田谷区と区内6大学が結ぶ「世田谷プラットフォーム」が国の支援事業に採択され、地域発展に向けた機能強化を図った。

21世紀アジア学部の開設

本学にとって初の協定校は昭和50年に締結したアメリカのセント・ジョンス大学であった。平成31年4月現在、23カ国・1地域で51大学・機関と協定を結ぶ。同14年の21世紀アジア学部設置以降、留学生の受け入れ数は約3,550人、派遣留学生は約1,800人で、交換留学や共同研究を通じた多彩な人材輩出に寄与している。

海外協定校と語学研修

平成に入り、受け入れる留学生の増加に伴う地域住民への理解・協力を促すことにも取り組んできた。地域との交流を深め、留学生がそれぞれの母国料理を作って地域住民と触れ合う機会としている。

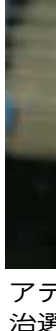


平成27年、茨城・鬼怒川水害で救援活動を行う学生・教職員の災害ボランティア

平成に入り、受け入れる留学生の増加に伴う地域住民への理解・協力を促すことにも取り組んできた。地域との交流を深め、留学生がそれぞれの母国料理を作って地域住民と触れ合う機会としている。

地域住民らと国際交流

平成に入り、受け入れる留学生の増加に伴う地域住民への理解・協力を促すことにも取り組んできた。地域との交流を深め、留学生がそれぞれの母国料理を作って地域住民と触れ合う機会としている。



アテネ大会で金メダルを獲得した鈴木桂治選手(平成16年)＝ロイター/アフロ

伝統紡ぐ寒稽古

時代が変化しても今なお続く国士館恒例の寒稽古。中学・高校・大学の生徒・学生が心身の鍛錬に取り組み、創立時は全寮制だったことから「朝稽古」と呼ばれていた。大正9年の記録には、太鼓の音を合図に早朝5時から柔道・剣道の稽古を行っていたことが残されている。

研究成果を海外にも発信

昭和51年に開設したインテリジェントセンターは、発掘調査による数々の研究成果を高い評価を受け、平成に入ると戦争や自然災害で破壊された文化遺産の修復・保存に向け復興プロジェクトを国内外の研究チームと取り組んだ。また、防災について本学の各専門分野における国内外の各機関と共同研究が進められるなど、多分野にわたる研究成果が世界に発信されている。

自治体との連携

世田谷区や多摩市など自治体との連携事業を取り組む一方、平成13年に世田谷6大学コンソーシアムを締結し教育資源の相互利用や共同研究、単位互換などの連携に取り組んだ。同16年にはインターネットを活用した「せたがやeカレッジ」を世田谷区教育委員会と本学など4大学(現在は6大学)で共同開設した。同31年には世田谷区と区内6大学が結ぶ「世田谷プラットフォーム」が国の支援事業に採択され、地域発展に向けた機能強化を図った。

知の発信

これまで各学部が独自に開講していた公開講座を有機的に展開するため、平成12年に生涯学習センターを開校した。同18年には、創立100周年記念事業の一つとして地域交流文化センターの施設を竣工。イラク古代文化研究所の展示室も設置され、同施設は、地域交流の拠点となった。このほか、図書や学生食堂の利用や地域住民への供与によって、キャンパスは多様な学びと交流の場へと移り変わっていった。

生涯学習講座の展開



本紙第434号で告知した平成13年度の公開講座

社会に貢献する人材育成と地域連携

平成29年、防災・救急救助総合研究所が設置されると、被災地のボランティア活動が活発化した。同26年には全新生徒に対する防災基礎教育を導入。さらに防災リーダー養成科目を設置し、地域の防災拠点大学としての位置づけを明確にしている。



平成27年、茨城・鬼怒川水害で救援活動を行う学生・教職員の災害ボランティア

平成29年、防災・救急救助総合研究所が設置されると、被災地のボランティア活動が活発化した。同26年には全新生徒に対する防災基礎教育を導入。さらに防災リーダー養成科目を設置し、地域の防災拠点大学としての位置づけを明確にしている。

自治体との連携

世田谷区や多摩市など自治体との連携事業を取り組む一方、平成13年に世田谷6大学コンソーシアムを締結し教育資源の相互利用や共同研究、単位互換などの連携に取り組んだ。同16年にはインターネットを活用した「せたがやeカレッジ」を世田谷区教育委員会と本学など4大学(現在は6大学)で共同開設した。同31年には世田谷区と区内6大学が結ぶ「世田谷プラットフォーム」が国の支援事業に採択され、地域発展に向けた機能強化を図った。



平成29年、地域での交流イベント

地域との交流

地域に開かれた学園をコンセプトにした大規模なキャンパス整備とさまざまな取り組みにより、地域交流が一気に広まった。学園祭や講演会など各種行事を通じた交流や、学生・生徒による地域行事でのボランティア活動など地域に根ざした活動が定着していった。

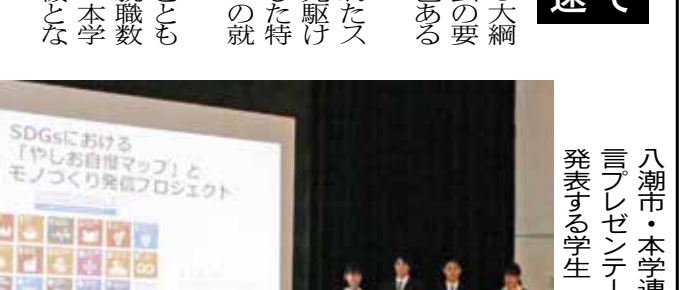
特色ある教育で人材輩出を加速

平成3年の大学設置基準の大綱化以降、急速に変容する社会の要請を踏まえ、本学はより特色ある教育組織の再編を推進。同12年体育学部を開校されたスポーツ科学研究科は、全国に先駆けて救命士養成を目的とした特色ある学科であり、消防官への就職が急増した。以後、警察官・自衛官とともに、全国でトップクラスの就職数を維持し、高い使命感をもつ本学卒業生が世界で活躍する契機となった。



企業採用担当者が見守る中、実習に取り組む体育学部スポーツ医科学科の学生ら(平成14年)

平成3年の大学設置基準の大綱化以降、急速に変容する社会の要請を踏まえ、本学はより特色ある教育組織の再編を推進。同12年体育学部を開校されたスポーツ科学研究科は、全国に先駆けて救命士養成を目的とした特色ある学科であり、消防官への就職が急増した。以後、警察官・自衛官とともに、全国でトップクラスの就職数を維持し、高い使命感をもつ本学卒業生が世界で活躍する契機となった。



八潮市・本学連携事業「政策提言プレゼンテーション大会」で発表する学生(平成30年)

八潮市・本学連携事業「政策提言プレゼンテーション大会」で発表する学生(平成30年)



平成29年、地域での交流イベント

「平成」のあゆみ

- 平成4(1992)年 多摩校舎(現多摩キャンパス)開設、体育学部移転
- 6(1994)年 大学院に工学研究科設置
- 7(1995)年 国士館中学校・高等学校が男女共学制に(新校舎完成)
- 7(1995)年 大学院に法学研究科設置
- 8(1996)年 国士館大福地専門学科設置(平成19年廃止)
- 8(1996)年 教養部廃止
- 9(1997)年 大学院に経営学研究科設置
- 10(1998)年 国士館創立80周年記念式典
- 10(1998)年 中央図書館完成
- 12(2000)年 高等学校に通制課程増設(平成30年廃止)
- 12(2000)年 アジア・日本研究センター(平成31年廃止)、生涯学習センター開設
- 13(2001)年 21世紀アジア学部設置
- 13(2001)年 大学院にスポーツ・システム研究科、人文科学研究科設置
- 14(2002)年 21世紀アジア学部設置
- 15(2003)年 政経学部を昼夜開講制に改組
- 16(2004)年 国士館短期大学廃止
- 16(2004)年 ウェルネス・リサーチセンター開設
- 17(2005)年 旧都立明正高等学校用地(世田谷区梅丘)を取得
- 18(2006)年 大学院に総合的財産法科学研究科、グローバルアジア研究科設置
- 19(2007)年 工学部を理工学部へ改組
- 19(2007)年 政経学部一部廃止
- 20(2008)年 国士館創立90周年記念式典
- 20(2008)年 世田谷キャンパスに梅ヶ丘校舎完成
- 21(2009)年 鶴川キャンパスを「町田キャンパス」に改称
- 22(2010)年 大学院に救急システム研究科設置
- 23(2011)年 経営学部設置
- 24(2012)年 防災・救急救助総合研究所 図書・情報メディアセンター開設
- 25(2013)年 世田谷キャンパスにメイプルセンター・ホール完成
- 25(2013)年 大塚府キャンパスを太宰府市へ譲渡
- 28(2016)年 多摩キャンパスにメイプルセンター・ホール多摩完成
- 28(2016)年 旧国本学園町田校地(町田市野津田町)を取得(現国士館梅の杜キャンパス)
- 29(2017)年 国士館創立100周年記念式典



梅ヶ丘校舎の完成、アジアンフェスタ、中央図書館の完成、中・高が男女共学に、多摩校舎の完成

地域の防災力 向上へ

シンポジウム開催

連携の重要さ再認識

住民、学生らも意見表明



さまざまな視点から意見を述べたパネリスト

本学防災・救急救助総合研究所(防災・救急救助総合研究所)は、3月23日、世田谷キャンパスのメイプルセンチュリーホール1階大教室で「地域の防災力を高める」をテーマに第9回シンポジウムを開催した。会場には地域住民を中心に約90人が来場し、関係者や本学職員による発表、パネリストによる基調講演やパネルディスカッションが行われた。写真

■基調講演
「コミュニティを大切に」
室崎教授は基調講演で、「自治会や町内会などの地域コミュニティと地域防災は密接な関係にある」とし、「地域における人の交流が活発であるほど、自律性、連帯性が生まれ、被害縮小につながる。復興も早い」と解説した。

また、「地域防災は、日々の連携から発端される。地域にどんな人がいるのかを互いに把握し、いざというときに助け合える」と呼びかけた。

「災害ボランティア経験が大きな力に」
学生と本学職員による発表は、3人が登壇した。まず防災総研の浅倉大地職員は、これまで学生を引率して災害ボランティア活動を行った経験から、「被害状況の把握や被害者の声を聞くのが、被災者にとって重要なこと。被災者にとって必要な経験となっており、学生の災害ボランティア経験者が近くにいることは、地域防災に大いに貢献できる」と述べた。

「病院前救急医療教育」
エジプト研修生修了
エジプトの救急医療に従事する医師ら10人を研修生として受け入れる「病院前救急医療研修プログラム」が1月7日から3月4日までの約2ヵ月間、本学の多摩キャンパスで実施され、防災・救急教育の充実が図られた。

「学んだ成果」
母国で活用
2月28日には、報告会が閉じられ、研修生が学んだ成果を報告した。研修生は、母国で学んだ防災・救急の知識や技術を、母国で活用したいと希望を示した。

五輪キャンパス地の町田市
テロ災害訓練に参加
東京2020オリンピックの大切さを実感した町田市。テロ災害訓練に参加した町田市消防局の消防士らと、本学の学生が共同訓練を行った。

募金 ネット
本学は、教育研究および社会貢献を目的とした活動を展開する。募金を呼びかけ、社会貢献に取り組んでいる。

ボランティア活動へ
本学は、ボランティア活動の推進に取り組んでいる。学生が社会に出る際に主体的に貢献意識を持つための教育的観点から、被災地における支援活動の両方を満たす活動と考えている。

チーム国士館に新ヘルメット

低体温症ランナー 続出に対処
東京マラソンで約3万8000人のランナーが参加した。ランナーが低体温症に陥る危険性が高まっている。本学は、低体温症に陥るランナーへの対応として、新ヘルメットを開発した。

共同開発したヘルメット
低体温症に陥るランナーへの対応として、本学は、低体温症に陥るランナーへの対応として、新ヘルメットを開発した。

新ヘルメット 装着 送信
このヘルメットには通信機能、GPS測位システム、カメラが搭載されている。これにより、ランナーの位置や体温をリアルタイムで送信できる。

東京マラソン
EXPOに出展
本学は、東京マラソンEXPOに出展し、新ヘルメットを紹介した。

タイニーハウスお披露目
原英嗣研究室は滞在実験
タイニーハウスは、災害時の避難場所として活用できる。原英嗣研究室は、タイニーハウスを滞在実験した。

南泰裕研究室が共同設計
タイニーハウスは、災害時の避難場所として活用できる。南泰裕研究室は、タイニーハウスを共同設計した。

マスコミを
追う
本学は、マスコミの取材を受け、防災・救急教育の重要性を訴えている。

テレビ・ラジオ
本学は、テレビ・ラジオで防災・救急教育の重要性を訴えている。

本学は、教育研究および社会貢献を目的とした活動を展開する。募金を呼びかけ、社会貢献に取り組んでいる。



共同開発したヘルメット
低体温症に陥るランナーへの対応として、本学は、低体温症に陥るランナーへの対応として、新ヘルメットを開発した。

新ヘルメット 装着 送信
このヘルメットには通信機能、GPS測位システム、カメラが搭載されている。これにより、ランナーの位置や体温をリアルタイムで送信できる。

東京マラソン
EXPOに出展
本学は、東京マラソンEXPOに出展し、新ヘルメットを紹介した。

タイニーハウスお披露目
原英嗣研究室は滞在実験
タイニーハウスは、災害時の避難場所として活用できる。原英嗣研究室は、タイニーハウスを滞在実験した。

南泰裕研究室が共同設計
タイニーハウスは、災害時の避難場所として活用できる。南泰裕研究室は、タイニーハウスを共同設計した。

マスコミを
追う
本学は、マスコミの取材を受け、防災・救急教育の重要性を訴えている。

テレビ・ラジオ
本学は、テレビ・ラジオで防災・救急教育の重要性を訴えている。

本学は、教育研究および社会貢献を目的とした活動を展開する。募金を呼びかけ、社会貢献に取り組んでいる。

ボランティア活動へ
本学は、ボランティア活動の推進に取り組んでいる。学生が社会に出る際に主体的に貢献意識を持つための教育的観点から、被災地における支援活動の両方を満たす活動と考えている。

クラウドファンディングに挑戦しています。
目標金額 240万円 | 募集期間 2019年4月1日(月)~5月31日(金)

国士館大学 防災・救急救助総合研究所

トークイベント

多摩市と連携し開催

自転車ロード競技の魅力や見どころ紹介



舞台上では、手話通訳や要約筆記も行われた

本学と東京・多摩市は、東京2020オリンピック...



自転車競技の魅力語る沖氏(左)と土井氏

本学がゲスト出演することもあり、地域住民を中心...

東京2020 盛り上げよう!



聖火リレーチームも展示

トークイベントと関連して3月16日、17日の2日間、パルク・多摩...

「読書、感動しよう」

佐藤学長 新入生に講話



新入生に熱く語りかける佐藤学長

新入生を対象とする学長講話が、4月2日(多摩キャンパス)の体育館...

加藤さん2部門で受賞 横浜ビジネスグランプリ

公益財団法人横浜企業経営支援財団が主催する「横浜ビジネスグランプリ」...



2部門で受賞を果たした加藤さん(右)

加藤早織さんが学生部門優秀賞とオリエンス賞の2部門を受賞した。

海外研修体験記

国際交流センター主催の短期留学(海外研修)が2月に実施され、アメリカのカリフォルニア大学デビス校、オーストラリアのク...

アメリカ



研修先のクラスメイトと(左端が筆者)

私は、この短い一か月間という期間の中で、たくさん自分を成長させてくれたのを見つけた。

日本語文化を話題に距離感が接近

私にとって初めての留学先は、オーストラリア。オーストラリアという都市にあるクリフリス大学で...

見かけたかたのこのように、初めは英語の聞き分けが難しく、初日は英語力の向上と、一つは異文化に対する理解と尊敬です。

今年初のオープンキャンパス



全学部対象で賑わう

本学は、今年初のオープンキャンパスを3月24日に世田谷キャンパスで...

平成31年度 国士館大学入試結果(確定数)

Table with columns: 学部, 学科・専攻, 志願者, 受験者, 合格者. Rows include 政経, 体育, 理工, 法, 文, 21世紀アジア, 経営.

31年度入学試験合格者数 前年比236人増

本学は平成31年度入学試験をAO入学試験、推薦入学試験、前期入試、後期入試、C方式入学試験などに分けて実施した。

高校生に入学前教育 国士館高校とつながり強化

本学は2月6日、国士館高校の2年生と本学入学者予定の3年生を対象に、高次統計調査の一環として...



国士館史料室 だより

武蔵教育の萌芽と伝統 昭和9(1934)年 国士館専門学校を卒業した勝谷氏...

年々には埼玉真鍮製錬所を継承する武蔵を軸とした校風が、節制を重んじ、生涯を剣道の普及に尽力した人物である。

Open Campus 2019 advertisement with dates, times, and location information for various departments.

就活! HOT SPACE

就活支援 結果着実

業界研究フェア

ESの書き方工夫 内定獲得

想定した質問内容 スムーズに回答

大手自動車ディーラー



法学部 渡辺 瑠菜さん

渡辺さんは、大手自動車ディーラーのショールームスタッフに内定した。面接試験をこのように対処すべきを聞き、面接資料になるエントリーシート(ES)を入念に記述することを勧められた。面接では、基本的なESの内容から質問をされるのが多いため、ES作成の段階から面接を聞きながら、ESの内容を各所に記述していった。もちろんES作成は早いキャリア形成支援センターに積極的に通って、何度も何度も添削を受けて仕上げました。と渡辺さん。実際は多くの面接で想定していた質問が投げかけられ、スムーズに回答ができた振り返りもした。と述べた。

伝わりづらい表現に留意して準備

大手証券会社



体育学部 一法師(いっほし) 崇人さん

「さまざまな人(角度)から自分を捉えられている。一番の近道」と話す一法師さんは、大手証券会社から内定を得た。自身も就職活動にはキャリア形成支援センターに頻りに通って、エントリーシート(ES)の添削や面接指導アドバイスを受けるなど、ESに活用した。ほかにも友人にESや面接練習を見てもらうことで、自分では気づかない文章の癖や、上手く伝わりづらい表現などを指摘してもらった。と振り返る。さらに「一緒に大学生活を送った友人は、自分では気づかない良いところ悪いところをたくさん知っていた」と話した。

「なりたい」より「したい」仕事に

プロ球団通訳



21世紀アジア学部 中西 尊太(たけの)さん

プロスポーツ球団の通訳担当として、新入社員を中西さん(硬式野球部、投手)に「なりたい」という思いが強く、何をしたいかが重要だと言った。一法師さんは「『前職の経験』で『なりたい』ではなく、『したい』を軸に考えてほしい」とアドバイスした。中西さんは「『なりたい』ではなく、『したい』を軸に考えてほしい」とアドバイスした。中西さんは「『なりたい』ではなく、『したい』を軸に考えてほしい」とアドバイスした。

グループ討論の在り方学ぶ

就活トレーニング



アドバイスを伝えた。

毎週・金曜日に開講する就活トレーニングが3月22日(世田谷キャンパス)のキャリア形成支援センターで実施され、就職活動中の3年生3人が参加した。個別での対策が難しいグループディスカッション対策。キャリアカウンセラーが指導を務めた。はじめにこのテーマについて20分ほど話し合い、代表者が発表した。話し合いも丁寧に行われ、学生からも「複数の考えを一つにまとめるのが難しい」「自分の考えをうまく発言できない」という声があがった。最初カウセラーは「最初



1100人「視野広げる」



本学キャリア形成支援センターが7月8日、新タワー主催の「業界研究フェア」が京セラホールで開催された。採用担当者や企業代表者など、約2000人が参加し、業界研究フェアを開催した。採用担当者や企業代表者など、約2000人が参加し、業界研究フェアを開催した。採用担当者や企業代表者など、約2000人が参加し、業界研究フェアを開催した。

全国から200団体 採用担当者 「協調性重視」

「クラブに所属しているメンバーも、採用担当者から求められるスキルや、協調性重視の傾向がある」と話す。採用担当者や企業代表者など、約2000人が参加し、業界研究フェアを開催した。

本学では、学生の就職支援をサポートするキャリア形成支援センターを世田谷、町田、多摩の3キャンパスに設置しており、全学年に対して就職相談を受け付けています。

- キャリア形成支援センターのご案内
 - 所在地: 世田谷キャンパス 8号館1階、町田キャンパス12号館1階、多摩キャンパス教室・管理棟2階
 - 開室時間: 9時～17時(月～土曜日)
- グループ指導も充実
 - キャリアカウンセラーによる個別相談
 - 受付: 12時～17時(月～土曜日)



「企業の声を聞き有意義」

学部3年生・大学院1年生を対象とした学内業界・企業セミナー「就活! HOT SPACE」が2月26日・27日と3月12日・13日の計4日間、34号館2階の各教室で開催され、4日間で約800人の学生が会場に足を運んだ。

求人ブリス 222

教員試験面接練習会



本学教職課程運営センターと福教育会が主催する教員採用試験面接練習会が、3月8日(34号館各教室)で実施された。

「多くの課題に気づいた」

その後参加者からは、各班に分かれ、各講師の指導のもと面接練習、個人面接、集団討論や模擬面接など、教員採用試験に向けた実践的な練習を重ねた。

個人情報についてのお知らせ

国士館大学では、在学生リストをはじめ、多くの個人情報をお預かりしております。これらのデータは、個人情報保護法にもとづいて、学内規則を作り、適正に管理・運用いたします。

国士館仕様 まず読もう



「Working Gear」は、就職活動に役立つ情報が満載です。就職活動に役立つ情報が満載です。就職活動に役立つ情報が満載です。

就職支援スケジュール(予定)

キャリア形成支援センターの各種支援事業	2019年度 / 3年生・修士1年												2020年度 / 4年生・修士2年											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月					
全般	各学部オリエンテーション・ガイダンス	キャリアガイダンス	インターシップの基礎知識	大学主催インターシップ説明会	大学主催インターシップ	日経新聞スクラップ講座	SPI対策講座・模試	就職講座ガイダンス	就職講座	就職ガイダンス	就職ガイダンス	就職ガイダンス	就職ガイダンス	就職ガイダンス	就職ガイダンス	就職ガイダンス	就職ガイダンス	就職ガイダンス	就職ガイダンス					
公務員・教員	公務員採用試験対策講座ガイダンス(世田谷)	公務員採用試験対策講座(世田谷)	警察官・消防官試験対策講座ガイダンス(多摩)	警察官・消防官試験対策講座(多摩)	教員採用試験対策講座ガイダンス(多摩)	教員採用試験対策講座(多摩)	公務員採用試験対策講座ガイダンス(世田谷)	公務員採用試験対策講座(世田谷)	警察官・消防官試験対策講座ガイダンス(多摩)	警察官・消防官試験対策講座(多摩)	教員採用試験対策講座ガイダンス(世田谷)	教員採用試験対策講座(世田谷)	公務員採用試験対策講座ガイダンス(世田谷)	公務員採用試験対策講座(世田谷)	警察官・消防官試験対策講座ガイダンス(多摩)	警察官・消防官試験対策講座(多摩)	教員採用試験対策講座ガイダンス(世田谷)	教員採用試験対策講座(世田谷)	公務員採用試験対策講座ガイダンス(世田谷)					

就活って何すればいいの?

キャリア形成支援センターでは、就職活動が本格化する3年生を中心に、さまざまな支援を行っています。計画的に進めるためにも全体の流れを把握しておきましょう。

【3年生春～夏】
就職活動に向けて準備を始めるべき時期。まずは時間のかかる情報収集と自己分析から始めましょう。

【3年生秋～冬】
自己分析や業界・企業研究をもとに志望業界を絞り始める時期。志望動機や自己PRを伝える練習をしましょう。筆記試験対策も忘れずに。

【3年生3月～】
各企業の説明会がいよいよスタート。エントリーシートの提出に迫られる時期です。

【4年生6月～】
筆記試験や面接などの選考が本格化。内定を得る人も出てきます。公務員採用試験も始まります。

